



# 西幼だより

夏休み直前号

令和7年7月16日  
新潟市立西幼稚園

【教育目標】  
しなやかに  
たくましく



(西幼稚園 HP)

ブログも見てね!

## 希望を込めて、心を込めて

園長 渡邊 舞

子供たちが目覚ましく成長した1学期。子供たちの姿を通し、心が温かくなったり、優しい気持ちになったりする場面の数々がありました。また、現状にとどまらずに「もっと〇〇」と意欲的に、そして向上心をもって様々なことに取り組むたくましい子供たちの姿が見られるようになっていきます。その度に、前日とは違う成長した子供たちの姿があります。子供たちとともに織りなす毎日。担任をはじめ、全教職員で子どもたちの姿を受け止め、肯定的な言葉をたくさん伝えています。そこに、必ず、“希望を込めて、心を込めて”。

ある日、年長さんの使っていたものを年少さんが欲しくなり、手にとっていました。それを見た年長さんは「あっ」と声をあげ、その後「ダメ!」と言いました。その後一呼吸おいて「今使っているから、使わないでね」と言い方を変えたのです。そのことに対し担任が「今の言い方はお友達に伝わる優しい言い方だったね。ほら、お友達がちゃんと聞いているね」と伝えました。すると「今はダメだけど、今度貸してあげるからね」と優しく付け加えていたのでした。友達への伝え方について、担任の先生に受け止めてもらったことで、感情を整理し、相手への思いに寄り添おうとする姿勢までうまれました。また、ある日の給食の場面では、苦手なものを食べられた友達に気付き「〇〇ちゃん、がんばったね。すごいじゃん!」と声を掛けるお友達の姿がありました。自分も同じように先生に認めてもらった経験があることで、今度は友達を認める言葉へとつながったのです。友達に褒めてもらい「前は食べられなかったんだけど、おいしいって思うようになったんだよ」とうれしそうに話す姿がありました。友達に認めてもらい、自分の小さな成長にうれしさをかみしめていたように感じました。きっとそのうれしさが次への意欲につながると考えます。

1学期が終わります。こうした一つ一つの子供たちの姿を日々振り返り、教職員みんなですれすれ感じています。子供たちは、発達段階の途中であり、初めて経験すること、気付くことがたくさんの毎日です。その中で、日々、小さな成長があります。その成長は子供たちにとっては無意識です。認めてもらい、うれしさを感じることで、自分の成長を意識し、自信となって、次の「もっと〇〇したい」につながります。2学期も引き続き、“希望を込めて、心を込めて”丁寧に一人一人の日々の小さな成長を受け止め、認め、寄り添っていきたいと思います。

夏休みが始まります。各ご家庭でもきっとお子さんの成長をたくさん感じる場面があることと思います。ぜひ、お子さんの小さな成長を丁寧に“希望を込めて、心を込めて”言葉にして認めてあげてください。必ず自信に、そして次の経験につながります。2学期、また少し成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。

1学期、たくさんのご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。2学期も引き続き、子どもたちの『ワクワク』がいっぱいの西幼稚園として、職員一同、力を合わせ、取り組んでまいります。2学期もどうぞ、よろしくお願いいたします。



「よし、もっとがんばってみる」  
自らそう言って水に顔を付け、  
潜ることに成功! やったね!

二学期もたくさん  
ワクワクしよう

